

平成30年度

# 当初予算の概要



埼玉県 戸田市

# 目次

◇平成30年度 戸田市当初予算の概要	1
◇平成30年度の主な事業一覧	2
◇平成30年度 戸田市一般会計・特別会計歳入歳出予算	3
◇一般会計予算規模の推移	3
◇歳入予算の概要	4
◇市税（当初予算額）の推移	4
主な科目の増減内容	5
◇歳出予算の概要	6
目的別分類	6
主な科目の増減内容	6
性質別分類	8
主な増減内容	8
◇歳入歳出構成比	9
◇市税の状況	10
◇主な事業（施策別）	12
1 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	12
2 誰もが健康でいきいきと生活できるまち	17

3	安心して安全に暮らせるまち	19
4	緑と潤いのあるまち	21
5	快適で過ごしやすいまち	23
6	活力と賑わいを創出できるまち	27
7	人が集い心ふれあうまち	28
8	着実な総合振興計画の実行に向けて	29
◇	子育て世代が暮らしやすいまちづくり	32
◇	消費税率の引上げ分に係る地方消費税交付金の使途について	34
◇	競艇事業収益金充当に関する調	35
◇	予算マップ	36





## ◇平成30年度 戸田市当初予算の概要

平成30年度 一般会計予算額	502億7,800万円
	(前年度比 +2億4,800万円 +0.5%)
特別会計総額	231億2,507万円
	(前年度比 △32億1,031万円 △12.2%)
<b>一般会計・特別会計総額</b>	<b>734億307万円</b>
	(前年度比 △29億6,231万円 △3.9%)

一般会計は、社会保障費や子育て支援の関連経費が増加したものの、土木費や公社健全化に係る公共用地先行取得事業の減により、全体では前年度並みで、約2億5千万円の増加となっています。

特別会計は、介護保険の介護給付費等の影響による増があるものの、国民健康保険の国保財政運営の都道府県化や保険税の改定等による減、中退共及び介護老人保健施設の特別会計の廃止等により、全体では約32億1千万円の減少となっています。

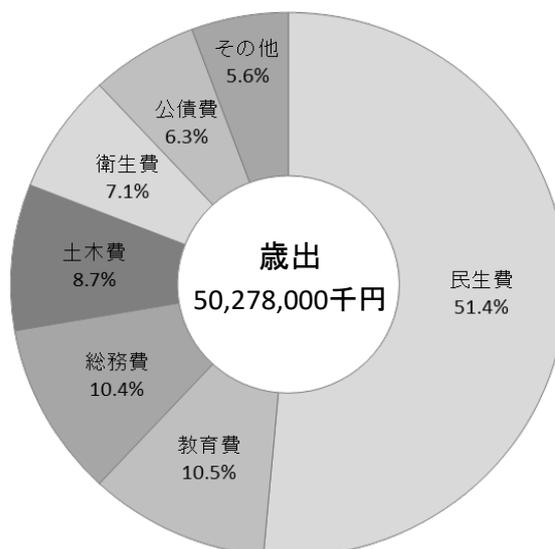
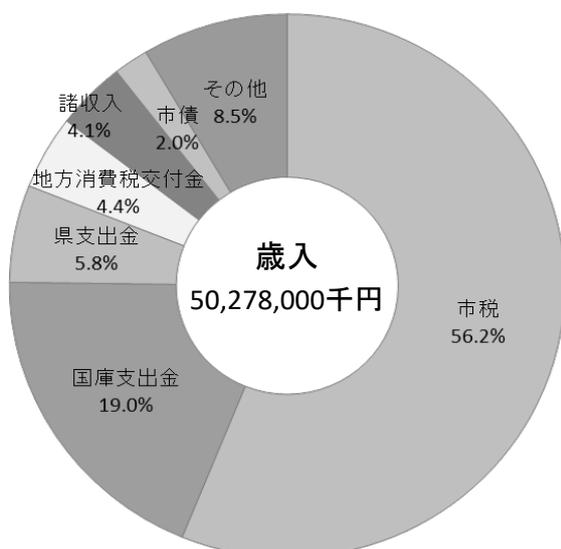
### ●一般会計歳入の主な増減

- |        |                   |                           |
|--------|-------------------|---------------------------|
| ・市税    | ＋約3億3千万円 (+1.2%)  | …個人市民税の増等により              |
| ・国庫支出金 | ＋約6億1千万円 (+6.9%)  | …障害者自立支援給付費の増、生活保護費の増等により |
| ・繰入金   | △約3億8千万円 (△25.7%) | …中退共制度の廃止等により             |
| ・市債    | △約8億4千万円 (△45.2%) | …公共用地先行取得事業債の減等により        |

### ●一般会計歳出の主な増減

- |       |                   |                         |
|-------|-------------------|-------------------------|
| ・民生費  | ＋約12億2千万円 (+4.9%) | …社会保障費や子育て関連経費の増等により    |
| ・土木費  | △約4億5千万円 (△9.4%)  | …新曽第一特別会計繰出金の減等により      |
| ・教育費  | ＋約1億7千万円 (+3.4%)  | …スポーツセンター屋内プール新築工事等により  |
| ・公債費  | ＋約5億3千万円 (+20.4%) | …庁舎耐震改修事業(H26)等の償還開始により |
| ・諸支出金 | △約9億7千万円 (△90.2%) | …公共用地先行取得事業の減等により       |

## 一般会計歳入歳出構成比



## 【平成30年度の主な事業一覧】

キーワード	担当課名	事業項目	主な事業内容	掲載ページ
子育て、保育	保育幼稚園室	待機児童緊急対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■保育所整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に新たに民間保育所が6園開園する(認可定員540人増)</li> </ul> </li> <li>■保育人材確保・定着化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士宿舍借上支援事業費補助金、保育士就職支援給付金</li> <li>・保育士緊急確保・定着促進事業補助金</li> <li>・産学官協働による保育人材確保・定着化事業、保育人材確保・定着化に関するセミナー等助成事業費補助金</li> </ul> </li> </ul>	12~13
	児童青少年課	学童保育室事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に新たに民間学童保育室が5室開設する(定員169人増)</li> <li>・老朽化の進んでいる喜沢小学校学童保育室を改築し、設置する。</li> </ul>	14
教育	教育総務課	市内小学校にタブレット型パソコン整備を拡充	市内小学校12校にタブレット型パソコン整備を拡充し、県内一のICT教育環境の整備を推進する。	14
	教育総務課	小中一貫校等の小中学校施設整備事業	小中一貫校(戸田東小学校・東中学校)の設立に向けた改築等をはじめとして、小中学校の改修を実施し、学級数の増加対策、施設の安全性の向上、長寿命化を図る。	14
	教育政策室	プログラミング教育教材の導入	市内小学校12校にロボット教材を導入し、作成したプログラムでロボットなどの教材を実際に動かし、体験的な学習として活用する。	15
	教育政策室	就学支援・教育相談体制の強化	①教育相談体制の充実のための心の教育アドバイザー、②不登校問題、いじめ問題等の解決する教育相談コーディネーター、③不登校児童生徒への学習・自立支援を行うピアサポーターを配置し、就学支援・教育相談体制の強化を図る。	15
	教育政策室	英検Jr.GOLDの受験費用補助金	市内全小学校第6学年児童を対象に、1人1回のみ英検Jr.GOLDを受験する費用の全額を補助し、小学校段階から客観的な指標となる英語検定による試験を受験させる。	15
	学務課	市内小中学校にコミュニティスクール導入	市内全小・中学校にコミュニティスクールを導入し、これまでより保護者や地域住民が学校運営に参画しやすくなる「地域とともにある学校づくり」を目指す。	15
	児童青少年課	(仮称)中町青少年の広場	中町多目的広場内ボール広場にフットサルゴール・バスケットゴール等を設置し「青少年の広場」を設置する。	16
	生涯学習課(図書館・郷土博物館)	図書館・博物館改修事業	公共施設の中長期保全計画に基づき平成30年度及び平成31年度にかけて、図書館内部、電気、給排水、空調、昇降機その他の設備の改修工事を実施する。	16
	文化スポーツ課	オリンピック・パラリンピック推進事業	2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて啓発事業の実施、市民を表彰する制度を創設する。	16
	文化スポーツ課	スポーツセンターの施設改修事業	スポーツセンターの改修(陸上競技場改修工事、屋内プール新築工事の改修等)を実施し、施設の安全性の向上、長寿命化を図る。	16
福祉、保健、医療	長寿介護課	健康福祉の杜の設備改修事業	健康福祉の杜について、老朽化により設備の修繕を実施する。また、今後の大規模改修に向けて検討業務を行う。	17
	福祉保健センター	地域保健推進事業の各計画策定	第3次戸田市健康増進計画、第2次戸田市食育推進計画、戸田市自殺対策計画及び戸田市歯科口腔保健計画を策定する。	17
	長寿介護課	蕨戸田市在宅医療支援センターを蕨市と合同で実施	在宅医療・在宅介護の連携を支援する窓口「蕨戸田市在宅医療支援センター」について、平成30年度から蕨市と合同で委託により実施する。	18
安心、安全、防災	防犯くらし交通課	「青色回転灯活動用車両バンク制度」の導入	治安向上及び市民への青パト普及を目的として「青色回転灯活動用車両バンク制度」を導入する。また、町会防犯カメラ設置補助金を交付し街頭犯罪抑止を図る。	19
	防犯くらし交通課	運転免許自主返納促進事業	運転免許証を自主返納した者に対し、戸田市独自の特典を付与し、返納制度を促進し交通事故の低下を図る。	19
	消防本部	消防自動車オーバーホール、高規格救急自動車の更新整備	35m級はご付消防自動車オーバーホール、高規格救急自動車の更新整備、高度救命処置用資機材の更新を行う。	20
	危機管理防災課	防災事業の強化	地域情報配信システム整備、文字情報表示機能付き防災ラジオ導入、防災監視カメラ設置業務、小学校屋内運動場非常用発電機設置工事設計等により、防災事業の強化を図る。	20
	情報政策統計課	防災拠点へWi-Fi環境整備	総務省の「防災等に資するWi-Fi環境の整備計画」に基づき、災害避難所等の防災拠点へWi-Fi環境を整備する。	28
みどり、都市基盤	みどり公園課	荒川水循環センター上部公園の全面オープン	平成30年7月の全面オープン(予定)にむけて、パークゴルフ場の利用を含めた公園施設の備品購入、オープニングイベントの準備、維持管理業務等を実施する。	21
	みどり公園課	戸田ヶ原自然再生事業、生き物マップ更新	戸田ヶ原自然再生事業を推進する他、平成24年度及び平成26年度に作成した戸田市生き物マップについて、情報を追加・更新し、市民参加によるマップ作りを実施する。	22
	道路河川課	市道に道路愛称標識設置	市内の道路に愛称を設定することで、市民の道路に対する親近感を高めることを目的とし、設定路線に道路愛称標識4基を設置する。	23
	道路河川課	道路、橋梁、河川等の整備事業	喜沢第一歩道橋補修工事、羽黒橋の補修工事、山宮橋の橋梁耐震工事等の道路橋の整備事業、上戸田川改修事業、さくら川整備事業、前谷馬場線整備事業を実施する。	23~25
	まちづくり推進課	「戸田市住宅バンク制度」	平成31年度に「戸田市住宅バンク制度」の運用開始にむけて、平成30年度は、子育て世帯等と空家物件のマッチングの方法等の制度設計や専用サイトを開設するための構築業務を実施する。	26
環境、経済、協働	経済政策課	ふるさと納税返礼品制度	ふるさと納税返礼品制度の充実を図り、市内事業者の商品を全国に発信し、地域経済の活性化に向けて取り組みを進める。	27
	経済政策課	戸田市起業支援センターの商工会へ機能移転	市が運営している戸田市起業支援センターについて、平成31年度から商工会に機能移転し、商工会にて運営するため施設改修を行う。	27
政策、行革等	政策秘書室	政策研究所による図書出版	政策研究所は設置から10年経過することから、これまでの代表的な取組や共同研究の成果をまとめ、政策研究所の商業出版図書を発行する。	29
	経営企画課	次期総合振興計画策定	本市におけるまちづくりの指針である総合振興計画が平成32年度に計画期間満了となることから、次期総合振興計画を平成30年度から3か年で策定する。	29

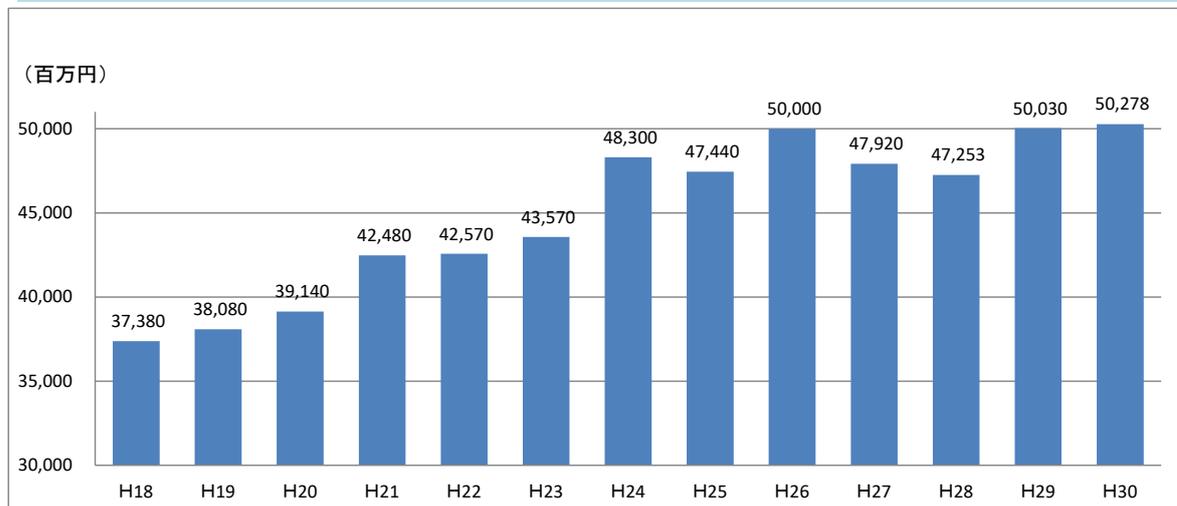
## ■平成30年度 戸田市一般会計・特別会計歳入歳出予算

### 平成30年度 一般会計・特別会計予算額一覧表

(単位：千円)

会 計 名		平成30年度	平成29年度	比 較	対前年度 伸率(%)
一 般 会 計		50,278,000	50,030,000	248,000	0.5
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	12,323,305	14,700,960	△ 2,377,655	△ 16.2
	市 民 医 療 セ ン タ ー	991,662	792,452	199,210	25.1
	交 通 災 害 共 済 事 業	6,399	6,521	△ 122	△ 1.9
	海 外 留 学 奨 学 事 業	9,593	8,691	902	10.4
	火 災 共 済 事 業	2,729	2,701	28	1.0
	新 曽 第 一 土 地 区 画 整 理 事 業	896,406	1,350,230	△ 453,824	△ 33.6
	介 護 保 険	6,489,598	6,233,255	256,343	4.1
	新 曽 第 二 土 地 区 画 整 理 事 業	1,150,940	286,165	864,775	302.2
	後 期 高 齢 者 医 療	1,142,511	1,048,415	94,096	9.0
	在 宅 介 護 支 援 事 業	111,927	140,385	△ 28,458	△ 20.3
	中 小 企 業 従 業 員 退 職 金 等 福 祉 共 済 事 業	0	1,042,849	△ 1,042,849	△ 100.0
	介 護 老 人 保 健 施 設 事 業	0	722,758	△ 722,758	△ 100.0
	特 別 会 計 合 計	23,125,070	26,335,382	△ 3,210,312	△ 12.2
	合 計		73,403,070	76,365,382	△ 2,962,312

### ○一般会計予算規模の推移



### ○一般会計・特別会計予算額

3.9%減

一般会計においては、障害者の自立支援給付事業、介護保険特別会計への繰出金、民間保育所事業等の子育て支援関連、生活保護扶助費等に係る民生費が約12億1千8百万円の大幅な増額となっています。

また、特別会計においては、国民健康保険については、平成30年度より開始される国保財政運営の都道府県化や保険税の改定等に伴い約23億7千7百万円の大幅な減、新曽第一については、補償費が約4億9千9百万円減少した一方で、介護保険については、介護サービス給付費4億4百万円等の給付費の伸びにより増、新曽第二については、補償費が約7億5千8百万円、宅地整備事業が約1億4百万円増により、特別会計全体では約32億円減少しています。

これらにより、平成30年度の一般会計及び特別会計の合計額は734億3百7百万円で、前年度に比べ、約29億6千万円(率で3.9%)の減となっています。

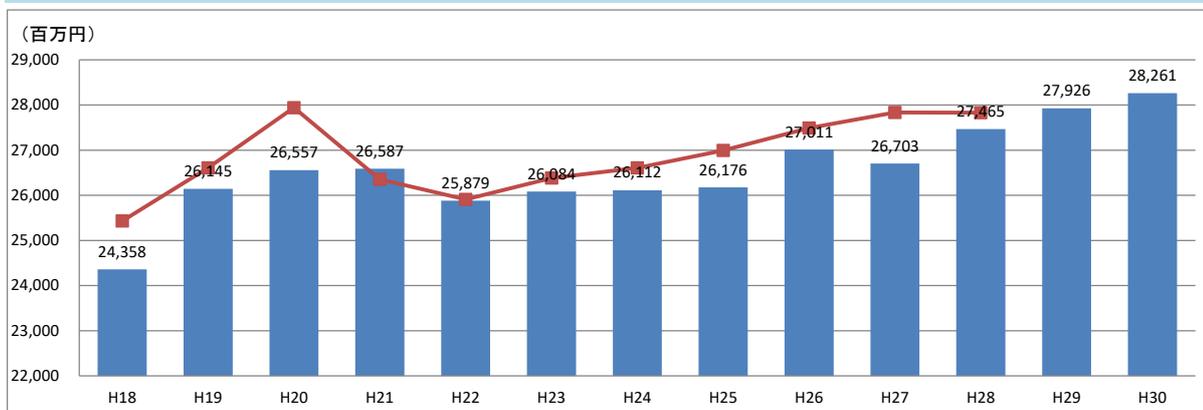
## ■歳入予算の概要

### 一般会計款別集計表 (歳入)

(単位：千円)

款	平成30年度	平成29年度	比較	対前年度 伸率(%)	構成比(%)
1 市 税	28,261,069	27,926,304	334,765	1.2	56.2
2 地 方 譲 与 税	218,000	218,001	△ 1	0.0	0.4
3 利 子 割 交 付 金	25,000	18,000	7,000	38.9	0.1
4 配 当 割 交 付 金	100,000	130,000	△ 30,000	△ 23.1	0.2
5 株式等譲渡所得割交付金	90,000	90,000	0	0.0	0.2
6 地 方 消 費 税 交 付 金	2,200,000	2,150,000	50,000	2.3	4.4
7 ゴルフ場利用税交付金	7,000	7,000	0	0.0	0.0
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	67,000	60,000	7,000	11.7	0.1
9 地 方 特 例 交 付 金	160,000	160,000	0	0.0	0.3
10 地 方 交 付 税	20,000	25,000	△ 5,000	△ 20.0	0.0
11 交通安全対策特別交付金	18,000	18,000	0	0.0	0.0
12 分 担 金 及 び 負 担 金	816,017	706,227	109,790	15.5	1.6
13 使 用 料 及 び 手 数 料	688,982	664,010	24,972	3.8	1.4
14 国 庫 支 出 金	9,537,119	8,923,311	613,808	6.9	19.0
15 県 支 出 金	2,903,704	2,593,516	310,188	12.0	5.8
16 財 産 収 入	235,780	224,243	11,537	5.1	0.5
17 寄 附 金	19,115	15,750	3,365	21.4	0.0
18 繰 入 金	1,097,820	1,476,944	△ 379,124	△ 25.7	2.2
19 繰 越 金	750,000	750,000	0	0.0	1.5
20 諸 収 入	2,045,793	2,018,193	27,600	1.4	4.1
21 市 債	1,017,601	1,855,501	△ 837,900	△ 45.2	2.0
歳 入 合 計	50,278,000	50,030,000	248,000	0.5	100.0

## ■市税（当初予算額と決算額）の推移



※棒グラフ … 予算 折れ線グラフ … 決算

## ○主な科目の増減内容（単位：千円）

### 分担金及び負担金 15.5%増

分担金及び負担金については、主なものとして平成30年度に開園する民間保育園6園の増設等に伴う保育料の増となっています。

- ・ 保育園保育料 +109,563 (676,069 → 785,632)

### 国庫支出金 6.9%増

国庫負担金については、主なものとして民間保育所の増加に伴う給付費の増となっています。生活保護費負担金については、歳出における生活保護費の増加に伴う増となっています。また、国庫補助金については、民間保育所の創設及び増設に伴う保育所等整備交付金の減となっています。

- ・ 施設型給付費、地域型保育給付費 +243,304 (1,037,535 → 1,280,839)
- ・ 生活保護費負担金 +198,266 (3,622,987 → 3,821,253)
- ・ 保育所等整備交付金 △109,573 (547,653 → 438,080)

### 県支出金 12.0%増

県支出金については、県負担金の障害者自立支援給付費の増や、県補助金の放課後児童健全育成事業費補助金の増となっています。

- ・ 障害者自立支援給付費 +53,150 (286,511 → 339,661)
- ・ 施設型給付費、地域型保育給付費 +121,652 (518,767 → 640,419)
- ・ 放課後児童健全育成事業費 +26,926 (82,919 → 109,845)
- ・ 保育士宿舍借上補助事業費 +33,948 (0 → 33,948)
- ・ 県議会議員選挙費 5,128 (0 → 5,128)

### 繰入金 25.7%減

繰入金については、財政調整基金については、扶助費の増加等に対応するため、前年度と比較すると約1億5千万円の増となっています。

また、中退共特別会計繰入金については、中退共制度の廃止に伴い、皆減となっています。

- ・ 財政調整基金 +148,128 (928,872 → 1,077,000)
- ・ 都市開発基金 △400,000 (400,000 → 0)
- ・ 中小企業従業員退職金等福祉共済事業特別会計繰入金 △131,190 (131,190 → 0)

### 諸収入 1.4%増

競艇事業収入については、前年度と同額の5億円となっています。また、さくら川整備事業負担金について、事業の進捗に伴い増となっています。

- ・ さくら川整備事業負担金 +60,132 (59,300 → 119,432)

### 市債 45.2%減

地域情報配信システム整備事業、戸田東小学校・戸田東中学校改築等事業（Ⅰ・Ⅱ期）、等に市債を活用しています。市債全体としては、公社健全化に係る先行用地取得事業債の皆減等により、前年度と比較して約8億4千万円の減となっています。

- ・ 笹目コミュニティセンター天井改修事業 40,100
- ・ 新曽福祉センターホール天井改修及びアスベスト除去事業 85,400
- ・ 上戸田川改修事業 62,900
- ・ さくら川護岸整備事業 80,400
- ・ (仮称)1号公園2期整備事業 50,600
- ・ 北部公園野球場改修事業 47,500
- ・ 地域情報配信システム整備事業 115,600
- ・ 教育債（戸田東小学校・戸田東中学校改築等（Ⅰ・Ⅱ期）、図書館・郷土博物館設備改修、スポーツセンター陸上競技場改修、スポーツセンター屋内プール新築）423,700

## ■歳出予算の概要

### ①目的別分類

目的別分類は、歳出をその行政目的に応じて区分するもので、予算の「款」を基準としています。

(歳出：目的別)

(単位：千円)

款	平成30年度	平成29年度	比較	対前年度 伸率(%)	構成比(%)
1 議会費	404,628	397,063	7,565	1.9	0.8
2 総務費	5,196,730	4,961,707	235,023	4.7	10.4
3 民生費	25,859,995	24,642,345	1,217,650	4.9	51.4
4 衛生費	3,582,839	3,820,295	△ 237,456	△ 6.2	7.1
5 労働費	61,831	178,862	△ 117,031	△ 65.4	0.1
6 農林水産業費	6,320	11,093	△ 4,773	△ 43.0	0.0
7 商工費	603,292	617,369	△ 14,077	△ 2.3	1.2
8 土木費	4,357,787	4,810,137	△ 452,350	△ 9.4	8.7
9 消防費	1,625,803	1,751,249	△ 125,446	△ 7.2	3.2
10 教育費	5,267,219	5,093,133	174,086	3.4	10.5
11 災害復旧費	10	10	0	0.0	0.0
12 公債費	3,146,729	2,613,378	533,351	20.4	6.3
13 諸支出金	104,817	1,073,359	△ 968,542	△ 90.2	0.2
14 予備費	60,000	60,000	0	0.0	0.1
歳出合計	50,278,000	50,030,000	248,000	0.5	100.0

### ○主な科目の増減内容（単位：千円）

#### 総務費

4.7%増

庁舎天井改修及び階段撤去工事、文化会館改修工事設計業務及び笹目コミュニティセンター天井改修工事が皆増、収入印紙等売りさばき事業が増となる一方で、アスベスト目視調査の終了により公有財産管理費が減、市長選挙費が皆減となっています。これらにより、総務費については、全体で約2億3千5百万円の増となっています。

- ・ 庁舎天井改修及び階段撤去工事 +38,448 (0 → 38,448)
- ・ 公有財産管理費 △23,634 (36,392 → 12,758)
- ・ 文化会館改修工事設計業務 +37,584 (0 → 37,584)
- ・ 笹目コミュニティセンター天井改修工事 +57,370 (0 → 57,370)
- ・ 収入印紙等売りさばき事業 +21,620 (27,000 → 48,620)
- ・ 市長選挙費 △48,397 (48,397 → 0)

#### 民生費

4.9%増

障害者の自立支援給付事業、介護保険特別会計への繰出金、新曽福祉センターホール天井改修及びアスベスト除去工事、民間保育所事業、地域型保育給付事業、学童保育室事業、生活保護扶助費等が増となる一方で、国保特別会計への繰出金、待機児童緊急対策事業が減、上戸田地域交流広場整備事業が皆減となっています。これらにより、民生費については、全体で約12億1千8百万円の大幅な増額となっています。

- ・ 国民健康保険特別会計繰出金 △805,081 (2,385,610 → 1,580,529)
- ・ 自立支援給付事業 +405,658 (1,440,597 → 1,846,255)
- ・ 介護保険特別会計繰出金 +55,172 (875,578 → 930,750)
- ・ 新曽福祉センターホール天井改修及びアスベスト除去工事 +119,448 (0 → 119,448)
- ・ 上戸田地域交流広場整備事業 △120,799 (120,799 → 0)
- ・ 民間保育所事業 +1,011,502 (3,290,804 → 4,302,306)
- ・ 小規模保育事業 +59,190 (447,278 → 506,468)
- ・ 待機児童緊急対策事業 △129,129 (920,083 → 790,954)
- ・ 学童保育室事業 +72,619 (442,663 → 515,282)
- ・ 生活保護扶助費 +264,354 (4,845,650 → 5,110,004)

**衛生費**

6.2%減

介護老人保健施設事業特別会計繰出金が、介護老人保健施設が指定管理へ移行することに伴い、平成29年度末で特別会計を廃止することにより皆減となる一方で、市民医療特別会計繰出金は、ろうけんを含めた施設の維持管理費等を市民医療特別会計へ移管することに伴い増となっています。これらにより、衛生費については、全体で約2億3千7百万円の減となっています。

- ・市民医療センター特別会計繰出金 +113,043 (420,030 → 533,073)
- ・介護老人保健施設事業特別会計繰出金 △343,735 (343,735 → 0)

**労働費**

65.4%減

女性再就職応援事業補助金が皆減、中退共特別会計繰出金は制度の廃止に伴い皆減となっています。これらにより、労働費については、全体で約1億1千7百万円の減となっています。

- ・女性再就職応援事業補助金 △30,000 (30,000 → 0)
- ・中退共特別会計繰出金 △86,115 (86,115 → 0)

**農林水産業費**

43.0%減

市民農園(土に親しむ広場)氷川町第2広場新設工事が完了したことにより皆減となっており、農林水産業費については、全体で約5百万円の減となっています。

- ・氷川町第2広場新設工事 △4,789 (4,789 → 0)

**商工費**

2.3%減

商工団体事業は増となっているものの、中小企業融資事業は減となっています。これらにより、商工費については、全体で約1千4百万円の減となっています。

- ・中小企業融資事業 △70,368 (354,377 → 284,009)
- ・商工団体事業 +40,373 (21,155 → 61,528)

**土木費**

9.4%減

橋梁整備、さくら川整備、前谷馬場線整備事業については増となっているものの、新曽中央地区整備、荒川水循環センター上部利用計画事業では減となっています。また、新曽土地区画整理事業繰出金については、新曽第一が約6億1千万円の減、新曽第二は約6千7百万円の増となっています。これらにより、土木費については、全体で約4億5千万円の減となっています。

- ・橋梁整備事業 +52,003 (50,488 → 102,491)
- ・さくら川整備事業 +113,903 (125,677 → 239,580)
- ・都市計画道路前谷馬場線整備事業 +76,938 (145,456 → 222,394)
- ・新曽中央地区整備事業 △55,451 (83,903 → 28,452)
- ・新曽第一土地区画整理事業繰出金 △611,816 (1,161,534 → 549,718)
- ・新曽第二土地区画整理事業繰出金 +67,370 (135,462 → 202,832)
- ・荒川水循環センター上部利用計画事業 △108,552 (188,045 → 79,493)

**消防費**

7.2%減

防災施設等整備事業が増となっているものの、消防本部庁舎南側隣接用地取得費が皆減、消防車両整備事業が減となっています。これらにより、消防費については、全体で約1億3千万円の減となっています。

- ・消防本部庁舎南側隣接用地取得 △161,154 (161,154 → 0)
- ・消防車両の整備事業 △58,626 (90,256 → 31,630)
- ・防災施設等整備事業 +148,761 (71,902 → 220,663)

**教育費**

3.4%増

スポーツセンターの屋内プール新築や陸上競技場改修によりスポーツセンター管理事業が増となっており、小中学校施設整備事業では減となっています。これらにより、教育費については、全体で約1億7千万円の増となっています。

- ・小学校施設整備事業 △90,587 (270,514 → 179,927)
- ・中学校施設整備事業 △72,885 (220,884 → 148,029)
- ・スポーツセンター管理事業 +226,763 (237,964 → 464,727)

**諸支出金**

90.2%減

諸支出金については、公社健全化に係る公共用地先行用地取得事業がH29年度で完了したことによる皆減による減となっています。

- ・公共用地先行用地取得事業(公社健全化) △996,828 (996,828→0)

## ②性質別分類

(歳出：性質別)

単位：千円

区 分		平成30年度	平成29年度	比 較	対前年度 伸率(%)	構成比(%)
義務的 経費	人 件 費	7,592,683	7,317,358	275,325	3.8	15.1
	扶 助 費	17,063,019	15,512,436	1,550,583	10.0	33.9
	公 債 費	3,146,729	2,613,378	533,351	20.4	6.3
	計	27,802,431	25,443,172	2,359,259	9.3	55.3
投 資 的 経 費		2,561,447	3,599,370	△ 1,037,923	△ 28.8	5.1
物 件 費		9,908,064	9,750,355	157,709	1.6	19.7
維 持 補 修 費		396,838	389,004	7,834	2.0	0.8
補 助 費 等		4,974,392	4,536,710	437,682	9.6	9.9
積 立 金		97,860	101,305	△ 3,445	△ 3.4	0.2
貸 付 金		399,996	472,176	△ 72,180	△ 15.3	0.8
繰 出 金		4,076,972	5,677,908	△ 1,600,936	△ 28.2	8.1
予 備 費		60,000	60,000	0	0.0	0.1
計		50,278,000	50,030,000	248,000	0.5	100.0

## ○主な増減内容 (単位：千円)

### 義務的経費

その支出が義務づけられ任意に削減できない経費で、人件費、扶助費、公債費をいいます。

9.3%増

扶助費では、障害者の自立支援給付事業、生活保護扶助費、子育て支援関連として、民間保育所事業が増となったため、扶助費全体では前年度に比べ約15億5千万円の増となっています。また、人件費は前年度に比べ約2億8千万円の増、公債費は約5億3千万円の増となっています。

### 投資的経費

投資的経費とは、その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費をいい、普通建設事業費、災害復旧費がこれらに分類されます。

28.8%減

主に図書館・郷土博物館設備改修、スポーツセンターの屋内プール新築事業等の実施により増となるものの、土地開発公社の公共用地先行用地取得事業をはじめ、上戸田地域交流広場整備事業、荒川水循環センター上部利用計画事業等の事業終了に伴う減により、全体としては前年度比で約10億4千万円の減となっています。

- ・上戸田地域交流広場整備事業 △117,641 (117,641 → 0)
- ・待機児童緊急対策事業 △164,355 (821,475 → 657,120)
- ・さくら川整備事業 +110,407 (113,096 → 223,503)
- ・荒川水循環センター上部利用計画事業 △179,960 (187,823 → 7,863)
- ・消防本部庁舎南側隣接地購入 △161,154 (161,154 → 0)
- ・地域情報配信システム整備 +116,202 (0 → 116,202)
- ・図書館・郷土博物館設備改修 +117,251 (0 → 117,251)
- ・スポーツセンター屋内プール新築 +172,467 (0 → 172,467)
- ・公共用地先行用地取得事業(公社健全化) △996,828 (996,828 → 0)

### 繰出金

一般会計と特別会計相互間において支出される経費です。地方公営企業法が適用される事業への繰出金は補助費等に分類されます。

28.2%減

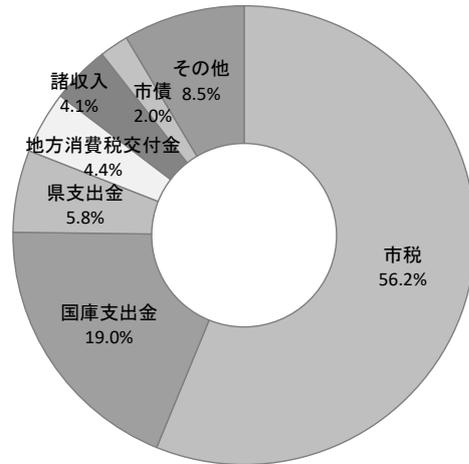
国民健康保険特別会計は広域化や国税改定の影響により、介護老人保健施設事業特別会計及び中退共特別会計繰出金は特別会計廃止に伴い皆減となり、繰出金全体では前年度比で約16億円の減となっています。

- ・国民健康保険特別会計繰出金 △805,081 (2,385,610 → 1,580,529)
- ・介護保険特別会計繰出金 +55,172 (875,575 → 930,750)
- ・市民医療センター特別会計繰出金 +113,043 (420,030 → 533,073)
- ・介護老人保健施設事業特別会計繰出金 △343,735 (343,735 → 0)
- ・中退共特別会計繰出金 △86,115 (86,115 → 0)
- ・新曽第一土地区画整理事業繰出金 △611,816 (1,161,534 → 549,718)
- ・新曽第二土地区画整理事業繰出金 +67,370 (135,462 → 202,832)

## ○歳入・歳出構成比

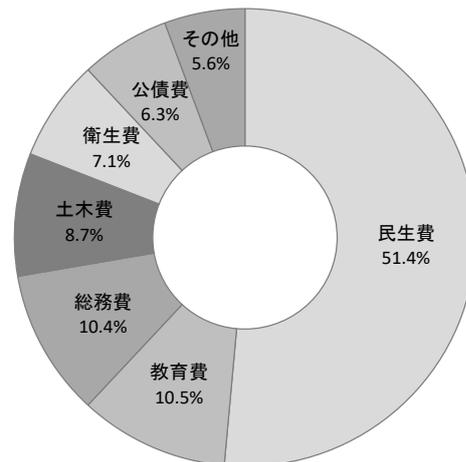
### 歳入

歳入  
50,278,000千円



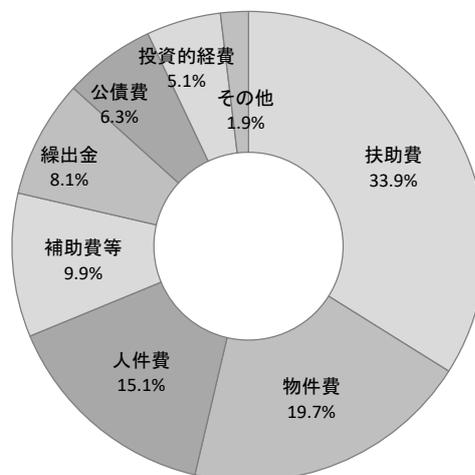
### 歳出（目的別）

歳出  
50,278,000千円



### 歳出（性質別）

歳出  
50,278,000千円



義務的経費 55.3%  
(扶助費、人件費、公債費)

## ■市税の状況

市民税（個人・法人）は平成29年度と比較して、現年課税分と滞納繰越分の合計で、約3億4千3百万円の増となっています。この内、個人市民税は人口増加等に伴い、約3億9百万円の増となっています。また、固定資産税は約4千百万円の増、たばこ税は約5千万円の減となっており、市税全体の予算総額は約282億6千万円で、約3億3千5百万円の増となっています。

なお、平成28年度の市税全体の決算額は、約278億3千万円、また平成29年度の3月補正後の市税全体の予算現額は、約287億4千万円が見込まれています。

### 1. 現年課税分

(単位：千円)

区 分	年 度	平成30年度			平成29年度			前年度当初予算額との比較	
		当初調定見込額	当初予算額	徴収率	当初調定見込額	当初予算額	徴収率	金 額	伸 率
市	個 人	10,185,948	10,012,786	98.3%	9,888,655	9,710,659	98.2%	302,127	3.1%
	法 人	2,456,197	2,451,284	99.8	2,422,437	2,417,592	99.8	33,692	1.4
	計	12,642,145	12,464,070	98.6	12,311,092	12,128,251	98.5	335,819	2.8
税	固 定 資 産 税	12,438,235	12,363,604	99.4	12,390,988	12,316,641	99.4	46,963	0.4
	国 有 資 産 等 所在市交付金	382,340	382,340	100.0	391,231	391,231	100.0	△ 8,891	△ 2.3
	計	12,820,575	12,745,944	99.4	12,782,219	12,707,872	99.4	38,072	0.3
	軽自動車税	114,048	111,197	97.5	109,786	106,931	97.4	4,266	4.0
	市たばこ税	945,857	945,857	100.0	996,160	996,160	100.0	△ 50,303	△ 5.0
	都市計画税	1,796,607	1,785,826	99.4	1,799,710	1,788,910	99.4	△ 3,084	△ 0.2
合	計	28,319,232	28,052,894	99.1	27,998,967	27,728,124	99.0	324,770	1.2

### 2. 滞納繰越分

(単位：千円)

区 分	年 度	平成30年度			平成29年度			前年度当初予算額との比較	
		当初調定見込額	当初予算額	徴収率	当初調定見込額	当初予算額	徴収率	金 額	伸 率
市	個 人	623,949	129,781	20.8%	647,675	122,410	18.9%	7,371	6.0%
	法 人	12,406	3,175	25.6	13,914	3,478	25.0	△ 303	△ 8.7
	計	636,355	132,956	20.9	661,589	125,888	19.0	7,068	5.6
	固定資産税	222,053	64,617	29.1	237,755	62,054	26.1	2,563	4.1
	軽自動車税	6,770	1,286	19.0	6,913	1,313	19.0	△ 27	△ 2.1
	都市計画税	32,017	9,316	29.1	34,198	8,925	26.1	391	4.4
合	計	897,195	208,175	23.2	940,455	198,180	21.1	9,995	5.0

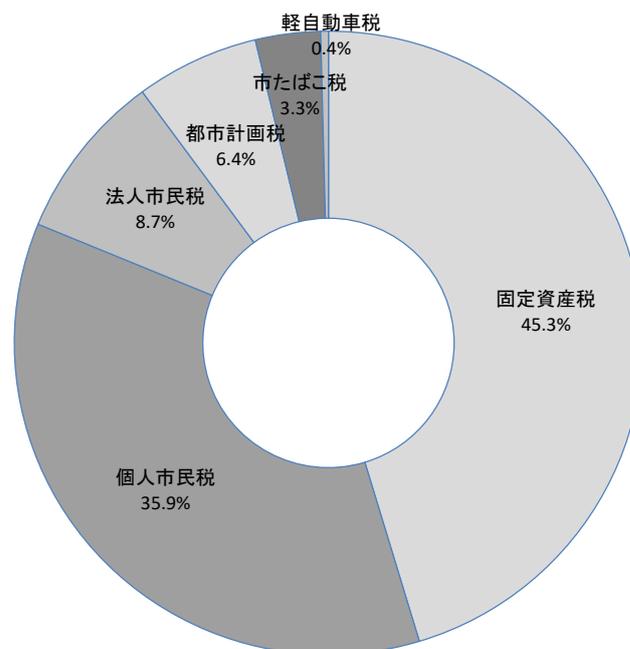
### 3. 合計

(単位：千円)

区 分	年 度	平成30年度		平成29年度		前年度当初予算額との比較	
		当初調定見込額	当初予算額	当初調定見込額	当初予算額	金 額	伸 率
市 民 税	個 人	10,809,897	10,142,567	10,536,330	9,833,069	309,498	3.1%
	法 人	2,468,603	2,454,459	2,436,351	2,421,070	33,389	1.4%
	計	13,278,500	12,597,026	12,972,681	12,254,139	342,887	2.8%
固 定 資 産 税	固 定 資 産 税	12,660,288	12,428,221	12,628,743	12,378,695	49,526	0.4%
	国 有 資 産 等 所 在 市 交 付 金	382,340	382,340	391,231	391,231	△ 8,891	△ 2.3%
	計	13,042,628	12,810,561	13,019,974	12,769,926	40,635	0.3%
軽 自 動 車 税		120,818	112,483	116,699	108,244	4,239	3.9%
市 た ば こ 税		945,857	945,857	996,160	996,160	△ 50,303	△ 5.0%
都 市 計 画 税		1,828,624	1,795,142	1,833,908	1,797,835	△ 2,693	△ 0.1%
合 計		29,216,427	28,261,069	28,939,422	27,926,304	334,765	1.2%

### 4. 市税の構成比

市税  
28,261,069千円



## 1 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち

### ●文化会館改修工事設計業務【文化スポーツ課】

37,584千円

文化会館は、建設後36年が経過し老朽化していることから、安全性の確保と施設規模を踏まえた効率的な維持・更新のために、老朽化した内装、設備及び特定天井等の大規模改修を行うための実施設計委託を実施する。

【国庫支出金 791千円】

### ●子どもの実態把握調査・分析業務【こども家庭課】

3,245千円

様々な状況におかれている子どもや子育て家庭の生活実態を把握するため、アンケート調査及び分析業務を実施する。その分析結果により、施策体制を構築し、子どもの貧困対策も含めた子育て支援施策を進めていく。

【国庫支出金 2,250千円】

### ●SAITAMA出会いサポートセンター結婚支援【こども家庭課】

94千円

結婚支援事業について、県が主体となり、市町村、企業、民間団体が連携して協議会を発足し運営する。SAITAMA出会いサポートセンター設置によるマッチングシステムを活用したパートナー探しや、結婚から妊娠・出産、子育て、仕事まで含めたライフデザインについて、セミナー実施により意識醸成等を図るなど、各段階に応じた切れ目のない支援に取り組む。

### ●民間保育所事業【保育幼稚園室】

4,302,306千円

保育所等入所の待機児童を解消するため、民間の認可保育所に対して助成を行い、保育所等受入枠の拡大を図る。民間保育所は既存の27園に加え、平成30年度は新たに6園が開園する。

また、平成29年度から開始した保育士宿舎借上支援事業費補助金、保育士就職支援給付金に加え、平成30年度から保育士緊急確保・定着促進事業補助金を新設し、保育所の受入枠の拡大とともに、保育士の緊急確保と定着化を図る。

#### ■平成30年度新設6園（合計540人）

- ・（仮称）戸田第2すこやか保育園（120人）
- ・（仮称）こだま虹保育園（120人）
- ・（仮称）つくし保育園（90人）
- ・（仮称）みんと保育園（90人）
- ・（仮称）ココファン・ナーサリー戸田公園（60人）
- ・（仮称）グローバルキッズ戸田駅前保育園（60人）

※（ ）内は認可定員を示す。



#### ■保育士緊急確保・定着促進事業補助金（新設）

戸田市内私立保育所等に勤務する補助対象保育士に対し賞与として年間20万円の上乗せ支給を行った保育事業者に対して、その額を補助する。

【国庫支出金 1,144,927千円】

【県支出金 680,950千円】

【保育料等 810,927千円】

**●小規模保育事業【保育幼稚園室】**

506,468千円

保育所等入所の待機児童を解消するため、定員19名以下の小規模保育事業所に対して助成を行い、保育の充実を図る。

また、民間保育所事業と同様に、平成29年度から開始した保育士宿舎借上支援事業費補助金、保育士就職支援給付金に加え、平成30年度から保育士緊急確保・定着促進事業補助金を新設し、保育人材の確保と定着を図る。

【国庫支出金 244,999千円】

【県支出金 125,601千円】

**●喜沢南保育園改築等工事設計業務【保育幼稚園室】**

35,309千円

待機児童緊急対策アクションプランに基づく喜沢南保育園の定員拡大の計画にあたり、昭和47年5月の建設から45年以上使用してきた園舎で一部老朽化も見られる中で、増築や改修等を総合的に検討した結果、園庭に新しく園舎を建て直す方向での整備方針に至った。

この方針に基づき、公立保育園の役割、機能を重視した利便性の高い建物にリニューアルすべく、改築（建替え）工事及び解体工事に係る調査、設計業務を実施する。



喜沢南保育園

**●待機児童緊急対策事業【保育幼稚園室】**

790,346千円

**■保育所整備 785,120千円**

保育所等入所の待機児童を解消するため、民設民営の保育所開設に対して施設整備補助を行うことで、保育所等受入人数枠の拡大を図る。

【国庫支出金 523,412千円】

**■保育人材確保 5,226千円**

平成29年度中に実施した保育士アンケート調査等を踏まえ、保育人材の確保・定着化の課題解決に向けて、市や事業者等の主体が単独ではなく一丸となり、市独自の方策を市全体で生み出し、それを実践した結果、保育士にとって魅力ある・働きやすい職場にすることで、本市の保育の質が向上し、長期に渡り安定的に保育人材を確保し、定着し続けることを狙いとした「産学官協働による保育人材確保・定着化業務」をコンサルタントの運営支援を受けて実施する。

また、私立保育所等の協議会が自主的に企画・運営する「保育人材確保や定着化に関するセミナー」等の費用の一部を補助する。

**●私立幼稚園預かり保育事業【保育幼稚園室】**

6,160千円

戸田市内私立幼稚園において、長時間預かり保育に係る運営に要する費用の一部を補助することで、預かり時間の拡大を推進し、待機児童数の減少や保育サービスの充実を図る。



**●学校教育指導事業【教育政策室】**

7,359千円

次期指導要領改訂において、小学校の段階で児童がプログラミングを体験しながら、論理的思考を育成していくことが求められおり、本市では、すでに平成29年度から民間企業と連携した教員のプログラミング教育指導力向上事業を推進し、プログラミング教育の積極的導入準備を進めている。

現在はパソコンを活用したプログラミング教育は可能であるが、平成30年度は小学校12校にロボット教材を導入し、作成したプログラムでロボットなどの教材を実際に動かし、体験的な学習として活用する。

**●小学校自己肯定感育成事業【教育政策室】**

6,906千円

早期からの就学支援・教育相談体制の充実、いじめや不登校等の今日的学校教育課題への対応により自己肯定感の育成を図るため、新たな取組みを実施する。

**①心の教育アドバイザー**

平成28年4月からの障害者差別解消法の施行等を踏まえ、早期からの就学支援・教育相談体制の充実のための心の教育アドバイザー制度を導入する。福祉・保健・医療等の関係機関と連携して、就学前から切れ目なく就学先決定の支援を行うために、専門知識を有する「心の教育アドバイザー」を任用し、早期からの就学支援・教育相談体制を充実させる。

**②教育相談コーディネーター**

教育相談について専門的なスキルを有し、不登校問題、いじめ問題等の解決に向けて、学校と連携を図りながら教育相談各専門職をコーディネートする「教育相談コーディネーター」を任用する。

**③ピアサポーター**

適応指導教室及び中学校さわやか相談室において、「ピアサポーター」による不登校児童生徒への学習・自立支援を行う。

**●英語検定受験費用助成【教育政策室】  
(英検Jr.GOLD)**

905千円

市内全小学校第6学年児童約1200人を対象に、1人1回のみ英検Jr.GOLDを受験する費用の全額を補助し、小学校段階から客観的な指標となる英語検定による試験を受験させることで、英語力がどの程度身についているかを確認するとともに、3級取得を目標に設定することにつなげる。

**●コミュニティ・スクール事業【学務課】**

3,273千円

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正を受けて、全ての学校にコミュニティ・スクール(学校運営協議会)を導入することが努力義務となった。これを受けて、平成30年度から市内全小・中学校にコミュニティ・スクールを導入し、これまでより保護者や地域住民が学校運営に参画しやすくなる「地域とともにある学校づくり」を目指す。

【国庫支出金 458千円】

【県支出金 458千円】

**●小学校管理運営費【学務課】**

2,371千円

通常学級において、特別な支援を必要とする児童の数が増加していることから、教育指導業務の充実と改善を図るため、教育支援パートタイマーを増員する。

また、戸田東小学校及び戸田東中学校においては、平成30年度から建て替え工事が始まることから、通学路の安全確保のため、交通指導員を増員し配置する。

**●中町多目的広場に「青少年の広場」を設置【児童青少年課】**

2,066千円

中町多目的広場内のボール広場について、市民等からの要望を受けて、フットサルゴール及びバスケットゴール等を設置し、青少年の安全で安心な居場所を確保し、健全な育成に寄与することを目的とした「青少年の広場」を設置する。



中町多目的広場

**●図書館・郷土博物館改修事業【生涯学習課】**

122,150千円

公共施設の中長期保全計画に基づき平成30年度及び平成31年度にかけて、図書館内部、電気、給排水、空調、昇降機その他の設備の改修工事を実施する。

【継続費 H30～H31 総額 966,022千円】  
【市債 87,900千円】



図書館・郷土博物館

**●オリンピック・パラリンピック推進事業【文化スポーツ課】**

2,953千円

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、本市の地域資源であるボートをはじめとした、様々なスポーツやレクリエーションに市民が触れる機会を増やし、パネルによる競技紹介、ボート用具、パラスポーツ用車いす等の展示などの啓発事業を行うことで気運の醸成を図る。

また、スポーツに対する市民の意識の高揚を図り、まちへの愛着を深めるため、スポーツ分野において優秀な成績を残した市民を表彰する制度を創設する。

**●スポーツセンター管理事業【文化スポーツ課】**

261,445千円

地域スポーツの拠点として、スポーツセンター施設の改修を実施し、施設の安全性の向上、長寿命化を図りスポーツ人口の拡大・充実を図る。

- ・非常階段劣化調査業務
  - ・屋内プール新築工事家屋調査業務
  - ・屋内プール新築工事監理業務
  - ・屋内プール新築工事
- 【継続費 H30～H31 総額 1,510,102千円】
- ・陸上競技場改修工事

【市債 185,000千円】



スポーツセンター

## 2 誰もが健康でいきいきと生活できるまち

### ●健康福祉の杜管理運営費【長寿介護課】

71,422千円

健康福祉の杜は、建設後20年(平成9年3月建設)が経過し老朽化が見られることから、設備の修繕を実施する。

また、公共施設の長寿命化に向けて、設備更新時期の平成36年度頃を目安に大規模改修工事を予定していることから、建物内外の調査を行い、予定している大規模修繕の時期や改修工事の手法、整備方針をより詳しく検討するための業務委託を行う。



健康福祉の杜

### ●心身障害者福祉センター敷地内のアスファルト修繕【障害福祉課】

5,735千円

心身障害者福祉センター敷地内のアスファルトは、建設から30年が経過し、経年劣化による路面の損傷が見られることから、アスファルトの再舗装を行い、利用者の転倒を未然に防止する等、安全性を確保する。



心身障害者福祉センター

### ●福祉保健センター天井改修工事【福祉保健センター】

16,805千円

福祉保健センターの特定天井該当箇所について、国の方針等に基づき天井改修工事を行い、技術基準への適合と安全性の向上を図る。



福祉保健センター

### ●地域保健推進事業【福祉保健センター】

13,213千円

平成30年度に、地域保健推進事業に関する4つの計画を策定する。  
現在別々に策定している戸田市健康増進計画と戸田市食育推進計画に内容の重複する部分が多いことや、自殺対策基本法の一部改正により市町村自殺対策計画の策定が定められたこと、また、戸田市歯科口腔保健の推進に関する条例に基づき歯科口腔保健計画を策定する必要があるため、4つの計画を同時期に策定する。

#### 【策定する計画】

- 第3次戸田市健康増進計画
- 第2次戸田市食育推進計画
- 戸田市自殺対策計画
- 戸田市歯科口腔保健計画

●健康づくりポイント事業【福祉保健センター】

4,902千円

「健康長寿埼玉モデル事業」として実施している健康づくりポイント事業を継続する。健康づくりに取り組む市民を増やし、健康寿命を延ばすことを目指す。

参加者に6か月の間、1万歩を目標に歩くこと、良い生活習慣を身に付けるための生活目標に取り組むこと、健康教室に参加することなどに取り組んでもらう。取り組みに応じてポイントを付与し、基準ポイントに達成した人へ抽選で賞品を贈る。平成30年度は、取り組み前後に血液検査及び身体体力測定を行い6か月間の取り組み効果を確認するとともに、医療費抑制効果も確認する。

【県支出金 1,634千円】

●在宅医療・介護連携推進事業  
(介護保険特別会計)【長寿介護課】

4,988千円

医療と介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、蕨戸田市医師会が、在宅生活に向けた相談窓口「蕨戸田市在宅医療支援センター」を設置し、市民やケアマネジャー等から相談を受け付けている。

この相談窓口について、平成30年度から蕨市と合同で委託により実施する。

●認知症総合支援事業  
(介護保険特別会計)【長寿介護課】

1,362千円

認知症地域支援推進員等による認知症の人やその家族への支援や関係機関とのネットワークづくりを行い、地域における認知症のケア体制を構築し、また認知症の早期診断・早期対応に向け、戸田病院（認知症疾患医療センター）及び戸田市立市民医療センターに「認知症初期集中支援チーム」を委託により設置し、専門職チームが訪問支援を行うことで、認知症の人やその家族を早期に支援することができるよう体制の整備を進める。

【認知症初期集中支援チーム】

複数の専門職による個別の訪問支援（受診勧奨や本人・家族へのサポート等）

- ・ 認知症サポート医である専門医
- ・ 医療系職員+介護系職員



### 3 安心して安全に暮らせるまち

#### ●防犯対策事業【防犯くらし交通課】

918千円

治安向上及び市民への青パト普及を目的として、市が車両利用事業者から車両の入替や利用可能な廃車予定車両を有効活用し、青パト活動のための車両を求める団体等に車両提供を仲介する「青色回転灯活動用車両バンク制度」を導入する。



提供車両(イメージ)

#### ●町会防犯カメラ設置補助金【防犯くらし交通課】

8,400千円

平成29年度から平成31年度までの期間で、町会・自治会が行う防犯カメラの設置に対し、戸田市防犯カメラ設置補助金を交付し、防犯カメラ設置の適正化を推進し、街頭犯罪抑止と市民の防犯意識の高揚を図る。



防犯カメラ(イメージ)

#### ●運転免許自主返納促進事業【防犯くらし交通課】

3,492千円

身体機能や認知機能の低下等により運転に自信がない場合に、運転免許証を自主返納できる制度があり、市で積極的な制度の周知を行うとともに、運転免許証を自主返納した者に対し、戸田市独自の特典として、自主返納者1人につき5,000円相当の公共バス回数券を配付する。平成32年12月までの3年間を実施期間とし、返納を促進させ、交通事故の低下を図る。

#### ●交通安全施設事業【防犯くらし交通課】

10,315千円

市内での交通事故を減少させるため、効果的な路面標示やイメージハンプ、交差点内や交差点付近への特殊舗装など、交通安全施設の施工を行う。



整備前



整備後

●大規模災害用対応資器材整備事業【消防本部総務課】

6,668千円

大地震等による大規模災害をはじめ、集中豪雨や台風による河川の氾濫による大規模な風水害、またテロによる多数傷病者発生事案の対応として大規模災害用資器材の整備を図り、市民の安全・安心の暮らしを守る。

■備品購入

可搬式消防ポンプ、水害用ゴムボート・船外機、空気式救助マット（ゴム製）

●消防車両の整備事業【消防本部警防課】

31,630千円

消防車両更新計画に基づき、35m級はしご付消防自動車オーバーホール修繕のほか、高規格救急自動車・高度救命処置用資機材（救急2号車）の更新を行い、市民の暮らしを守るため消防体制の強化を図る。



はしご付き消防自動車



高規格救急自動車

●防災事業【危機管理防災課】

254,837千円

■地域情報配信システム整備

緊急時に市からの情報をより確実に市民に伝達するため、防災行政無線の放送内容を気密性の高い建物の中でも確認でき、文字放送も受信可能なデジタル防災ラジオを導入し、緊急情報の伝達手段の強化を図る。



防災ラジオ

■防災監視カメラ設置

近年の大雨や集中豪雨などに迅速な対応を行うため、市内の河川や水路3か所に防災監視カメラを設置し、早期の情報収集を図る。

■小学校屋内運動場非常用発電機設置工事設計

指定避難所における環境対策として、災害により停電が発生した際に照明機器や通信機器等の電源確保を可能とする非常用発電機を、小学校11校の屋内運動場に整備するための設計を行う。

## 4 緑と潤いのあるまち

### ●公園施設整備・改修事業【みどり公園課】

153,008千円

北戸田駅前の（仮称）1号公園の第2期工事の実施や、中町公園砂場改修をはじめとした市内公園施設の改良・改修、北部公園野球場公衆トイレ・更衣室の設備改修を実施する。

【地方債 98,100千円】



北部公園野球場



中町公園砂場

### ●荒川水循環センター上部利用計画事業【みどり公園課】

79,493千円

「彩の国アーバンアクア広場計画」及び「戸田市荒川処理センター上部利用計画」に基づき、荒川水循環センター上部に公園を整備する。

平成30年7月の全面オープン（予定）にむけて、パークゴルフ場の利用を含めた公園施設の備品購入、オープニングイベントの準備、維持管理業務等を実施する。



上部公園

【使用料 17,800千円】



整備イメージ図

●環境空間整備事業【みどり公園課】

5,856千円

川岸地区の環境空間を緑地・緑道として整備することで、緑の創出を図り、まちの顔としての景観形成や良好な住環境の形成を図る。平成29年度に実施した地元住民とのワークショップを踏まえて、この整備工事の実施設計業務を実施する。

- ・環境空間整備工事実施設計業務委託  
(予定地：川岸地区 2,686㎡)



川岸地区予定地

●戸田ヶ原自然再生事業推進業務【みどり公園課】

6,040千円

戸田ヶ原自然再生事業実施計画に示されている方法を踏まえ、キツネやカヤネズミの繁殖、生息環境の整備を検討するほか、ミドリシジミの生息確認を実施し、再導入に向けた検討をする。

また自然再生キャラクターを用いた小学校への環境学習を継続し、地元の子もたちの戸田ヶ原への愛着を育む。



サクラソウ



戸田ヶ原

●戸田市生き物マップ更新業務【みどり公園課】

2,052千円

平成24年度及び平成26年度に作成した戸田市生き物マップについて、情報を追加・更新し、市民参加によるマップ作りを実施する。日常において自然と接する機会が減りつつある子どもたちに、自然と触れ合う機会を創出する。



生き物マップ(イメージ)

## 5 快適で過ごしやすいまち

### ●道路愛称標識設置 (交通安全施設設置事業) 【道路河川課】

586千円

市内の道路に愛称を設定することで、市民の道路に対する親近感を高めることを目的とし、設定路線に道路愛称標識4基を設置する。



道路愛称標識(イメージ)

### ●公共座標整備事業 【道路河川課】

21,542千円

測量基準点の絶対位置を定める世界測地系により、公共座標を整備し、公共財産の保全や土地登記の利便性向上を図る。

3ヶ年計画で公共座標を世界測地系2011に更新するもので、平成30年度は、GPS測量にて1級及び2級基準点を改測する測量業務委託を実施する。



1級基準点

### ●道路維持管理補修事業 【道路河川課】

106,025千円

道路を良好な状態に保ち、安全で快適な道路空間を実現するため、予防保全型の維持管理補修を実施する。舗装補修計画に基づき舗装補修工事及び調査設計を行うとともに、歩道橋点検結果に基づき、喜沢第一歩道橋補修工事を実施する。

舗装補修計画については、平成25年度の策定から5年経過していることから、更新を行うための路面性状調査を実施する。

【国庫支出金 2,079千円】

【市債 61,900千円】



喜沢第一歩道橋

●橋梁整備事業【道路河川課】

102,381千円

「戸田市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋の状況を把握し、ライフサイクルコストの低減を図るとともに、計画的な延命化対策を実施する。

平成30年度は、羽黒橋の補修工事及び、緊急輸送道路にある山宮橋の耐震補強工事を行う。  
 (予算マップ参照)

【国庫支出金 24,766千円】  
 【市債 49,500千円】



山宮橋

●歩行者自転車道路整備事業【道路河川課】

58,786千円

歩行者自転車道路網整備計画に基づき、歩行者・自転車・自動車の3者それぞれの安全性と円滑性を高めるため、自転車通行空間の整備を行う。

【国庫支出金 5,313千円】



整備済の自転車レーン

●上戸田川改修事業【道路河川課】

137,258千円

上戸田川を整備し、治水安全度を向上させるとともに、快適な水辺環境の創出を図る。改修区域が新曽第二土地区画整理事業地区内にあるため、補償及び用地確保は特別会計において実施し、それに対して公共施設管理者負担金を支出する。

平成30年度は、神明榎橋付近から市役所南通りに向けて、約50mの区間の設計業務委託を行うとともに、特別会計で実施する(仮称)2号橋築造工事での護岸整備に係る費用を負担する。

【国庫支出金 17,000千円】  
 【市債 62,900千円】  
 【その他 48,102千円】



整備済箇所  
 中流部(二枚橋～JR)

※写真の矢印は川の流れる方向を示す

## ●さくら川整備事業【道路河川課】

229,676千円

さいたま市との協定に基づき、さくら川の護岸整備工事を実施する。治水安全度を向上させ、浸水被害の低減を図るとともに、水の恵みを感じ、快適に生活できる水辺環境を整備する。

平成30年度は、地盤変動影響調査業務及び次年度以降の工事箇所設計業務のほか、2工区（上流部35m、下流部45m）の護岸工事を行う。

（予算マップ参照）

【市債 80,400千円】

【その他 119,432千円】



整備済箇所

## ●前谷馬場線整備事業【道路河川課】

222,394千円

戸田駅へのアクセス道路として、また、市中央部の南北を結ぶ幹線道路として、前谷馬場線の整備を進めている。平成30年度は、物件移転補償等調査積算業務、用地取得箇所暫定整備、道路用地購入、物件移転補償、新曽柳原交差点横断函渠布設工事等を実施する。

また、第一工区（二枚橋交差点から新曽新曽柳原交差点までの約240m）について、道路や電線共同溝の詳細設計を行う。

【国庫補助金 19,965千円】



整備中の前谷馬場線



前谷馬場線位置図

## ●都市マスタープラン推進事業【都市計画課】

19,600千円

### ■立地適正化計画

平成30年度までに都市再生特別措置法に基づく「立地適正化計画」を、平成28年度から3か年かけて策定しており、平成30年度は、素案作成、パブリックコメントの実施、市民フォーラム等を実施する。居住や都市機能の誘導により、誘導施設等の立地の適正化を図るための計画として、都市全体の観点から作成する。

### ■都市マスタープラン

都市マスタープラン等見直し業務で、立地適正化計画との整合を図るため、都市マスタープランの一部を見直すとともに、用途地域等の都市計画についても併せて見直すもので、平成30年度まで2か年で実施する。

### ■都市交通マスタープラン

立地適正化計画における誘導施策の一つとして、公共交通の充実が必須項目となっていることから、都市交通に関する交通政策の基本的な考え方を示す計画を策定する。

【国庫支出金 2,736千円】

**●景観形成推進事業【都市計画課】**

2,550千円

景観法に基づく良好な景観の形成に関する計画として、平成21年に定められた戸田市景観計画について、立地適正化計画の策定や、それに伴う都市マスタープランの見直し等との整合を図るため、必要な見直しを行う。

**●住宅政策事業【まちづくり推進課】**

8,948千円

「戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けられている「住宅政策事業」として、平成31年度に戸田市住宅バンク制度の運用開始を予定しており、平成30年度は、子育て世帯等と空家物件のマッチングの方法等の制度設計を行う「空家への住替え等促進制度構築業務」及び「住宅バンク専用サイト構築業務」を実施する。

**●新曽第一土地区画整理事業【土地区画整理事務所】**

682,103千円

**■新曽第一土地区画整理事業の概要**

施行面積 91.2ha

都市計画決定年月日 平成6年10月14日

当初事業計画公告日 平成8年1月31日

仮換地指定年月日 平成11年3月15日

・主な事業

建築物等調査・積算業務、建物移転補償、道路築造工事、宅地造成工事、水路築造工事等  
※平成30年度は浸水対策として、3号調整池設計業務を実施



3号調整池整備箇所

使用収益開始率…75.5%（平成28年度末）

【国庫補助金 35,545千円 市債 254,600千円】

**●新曽第二土地区画整理事業【土地区画整理事務所】**

1,150,940千円

**■新曽第二土地区画整理事業の概要**

施行面積 40.5ha

都市計画決定年月日 平成11年5月14日

当初事業計画公告日 平成15年12月18日

仮換地指定年月日 平成19年3月20日

・主な事業

建築物等調査・積算業務、建物移転補償、道路築造工事、宅地造成工事、水路築造工事等



整備の様子

使用収益開始率…20.7%（平成28年度末）

【国庫補助金 388,646千円 市債 386,800千円】

## 6 活力と賑わいを創出できるまち

### ●ふるさと納税返礼品【経済政策課】

11,749千円

戸田市の産品などのPR及び市内産業の活性化を図ることを目的として、平成28年12月から、ふるさと納税制度を通じて、市へ寄附された方への返礼品の取り扱いを開始した。

ふるさと納税返礼品制度の更なる充実を図り、市内事業者の商品等を全国に発信し、地域経済の活性化に向けて取り組みを進める。



返礼品イメージ

### ●市商工会補助金（起業支援センター移転分）【経済政策課】

39,823千円

市が直接運営している「戸田市起業支援センター（オレンジキューブ）」について、商工会に機能を移し、商工会が運営する。市内事業者に通じている商工会が起業支援を行うことで、市内での事業連携、定着率アップを目指す。



戸田市起業支援センター

## 7 人が集い心ふれあうまち

### ●（仮称）戸田市多文化共生推進計画策定【協働推進課】

1,830千円

外国人居住者が増加傾向にある中で、日本人と外国人の双方の立場を理解し、外国人居住者が共に社会を担っていく仲間となり、活躍できる社会づくりを進めるため、「（仮称）戸田市多文化共生推進計画」を策定する。なお、市民や関係団体の意見を聴取するためのアンケート調査や市民会議を開催し、計画を策定する。

### ●町会会館等整備事業補助金【協働推進課】

14,918千円

#### ■市内町会会館の整備費を補助

平成30年度は、喜沢記念会館、南原会館、笹目6丁目会館、美女木4丁目会館の4町会会館の修繕費用を補助する。

（予算マップ参照）



喜沢記念会館



南原会館

### ●第五次戸田市男女共同参画計画策定【協働推進課】

4,011千円

戸田市男女共同参画推進条例に基づき、誰もがそれぞれの違いや多様な生き方を尊重し、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実現することを目的に、平成31年度を初年度とする「第五次戸田市男女共同参画計画」を策定する。

### ●地域情報化推進事業【情報政策統計課】

14,479千円

#### ■防災等に資するWi-Fi環境整備

総務省の「防災等に資するWi-Fi環境の整備計画」に基づき、災害避難所等の防災拠点へWi-Fi環境を整備することで災害時に必要な情報伝達手段を確保し、また平時は、観光情報の収集、教育での活用など、市民の利便性の向上を図る。

#### ■メール配信基盤整備

現在各課が個別導入しているメール配信システムを統合し、メール配信環境の最適化を行う。統合することによって、登録手続きが一括で行えるようになる等、市民の利便性向上を図る。

## 8 着実な総合振興計画の実行に向けて

### ●政策研究所 図書発行【政策秘書室】

1,000千円

政策研究所は平成20年4月の設置から10年が経過することから、本市の取組をこれまで以上に広く周知するため、政策研究所の10年間における代表的な取組や共同研究の成果をまとめ、政策研究所の商業出版図書を発行する。



これまでに出版した図書

### ●総合振興計画推進事業【経営企画課】

14,556千円

本市におけるまちづくりの指針である総合振興計画が平成32年度に計画期間満了となることから、次期総合振興計画を平成30年度から平成32年度までの3か年で策定する。

#### ■主な事業内容

- ・ 次期総合振興計画のあり方の検討
- ・ 社会情勢、都市現況等の整理、人口推計、財政分析等基礎調査
- ・ 市民3,000人を対象とした市民意識調査
- ・ 転出者及び転入者、各900人を対象とした人口移動実態調査
- ・ 協働会議、若年層ミーティングの開催

【債務負担行為設定額 11,182千円+消費税 】

### ●庁舎2階ロビー天井改修及び階段撤去工事【資産経営室】

38,448千円

地震発生時の天井脱落防止対策として、庁舎2階ロビーの天井改修工事を実施する。また、併せて2階ロビーの視認性の向上等を図るべく市民課前の階段を撤去する。

### ●中町多目的広場トイレ増設【資産経営室】

18,350千円（3年総額）

広場利用者が快適に利用できるようにするため、男性用、女性用のトイレを増設する。

**●戸田公園駅前行政センター運営事業【市民課】**

16,782千円

戸田公園駅前出張所窓口は、平成22年6月の開所以来、市民ニーズに対応して窓口サービスを拡充し、窓口利用件数が増加を続けてきている。

そこで、現在の開所当時からの窓口数、記載台等の窓口配置レイアウトを見直し、再編することにより、出張所窓口の受付機能を強化し、より適正な窓口サービスの提供を図る。



戸田公園駅前行政センター

**●証明書自動交付サービスの拡充【市民課】**

4,197千円（5年総額）

平成29年12月から本庁舎において設置している、証明書交付キオスク端末を戸田公園駅前行政センターにおいても設置することで、窓口混雑の緩和を図るとともに、マイナンバーカードの交付とコンビニ交付サービスなどの証明書自動交付を普及促進し、便利で利用しやすい窓口サービスを提供する。



キオスク端末

**●県議会議員選挙費【行政委員会事務局】**

9,045千円

平成31年4月29日の任期満了に伴い、平成31年4月中に県議会議員選挙を執行する。当該選挙の執行に必要な準備を実施する。



## ●子育て世代が暮らしやすいまちづくり

### ～子育て関連事業の取組みについて～

戸田市は、都心に近く交通の便の良さなどから、県内一若い平均年齢(H29)と全国屈指の人口増加率で、特に若い世代から選ばれるまちとなっています。しかしながら、共働き世帯の方が多く、保育所や学童保育室の不足が市の大きな課題の一つとなっています。

そこで、平成30年度の子育て支援に関連する主な取組みについて紹介します。

#### 1. 主な子育て関連の事業について

【単位：千円】

No	所属名	事業名	事業の概要	予算額
1	保育幼稚園室	民間保育所事業 ⇒「待機児童緊急対策アクションプラン」等参照	民間の認可保育所に対して助成を行い、保育所等受入枠の拡大を図ります。民間保育所は既存の27園に加え、平成30年度は新たに6園が開園します。 また、平成29年度から実施している就職支援給付と宿舍借上支援に加え、常勤保育士に対する賞与の上乗せ補助金を新設し、保育士の緊急確保と定着化を図ります。	4,302,306
2	保育幼稚園室	小規模保育事業 ⇒「待機児童緊急対策アクションプラン」等参照	定員19名以下の小規模保育事業所に対して助成を行います。 また、民間保育所事業と同様に、平成29年度から実施している就職支援給付と宿舍借上支援に加え、常勤保育士に対する賞与の上乗せ補助金を新設し、保育士の緊急確保と定着化を図ります。	506,468
3	保育幼稚園室	待機児童緊急対策事業 ⇒「待機児童緊急対策アクションプラン」等参照	民設民営の保育所開設に対して施設整備補助を行うことで、保育所等受入枠の拡大を図ります。 また、平成29年度中に実施した保育士アンケート調査等を踏まえ、保育人材の確保・定着化の課題解決に向けて、市や事業者等の主体が単独ではなく一丸となり、市独自の方策を市全体で生み出し、それを実践した結果、保育士にとって魅力ある・働きやすい職場にすることで、本市の保育の質が向上し、長期に渡り安定的に保育人材を確保し、定着し続けることを狙いとした「産学官協働による保育人材確保・定着化業務」をコンサルタントの運営支援を受けて実施します。 また、私立保育所等の協議会が自主的に企画・運営する「保育人材確保や定着化に関するセミナー」等の費用の一部を補助します。	790,346
4	保育幼稚園室	私立幼稚園預かり保育事業	戸市内私立幼稚園において、長時間預かり保育に係る運営に要する費用の一部を補助することで、預かり時間の拡大を推進し、待機児童数の減少や保育サービスの充実を図ります。	6,160
5	児童青少年課	学童保育室事業	民間学童保育室への運営費の補助を行い待機児童が見込まれる保育需要の高い地域を中心に、平成30年度は新たに5室の民間学童保育室が開室します。 また、老朽化が進んでいる喜沢小学学童保育室を改築し、設置します。	515,282

## 2. 待機児童緊急対策アクションプラン等について【保育幼稚園室】

### (1) 待機児童緊急対策アクションプラン（平成28年10月作成）

戸田市では、平成28年4月1日現在の保育所等の待機児童数は106人と、初めて3桁に達したこと等から、同年6月に「待機児童緊急対策本部」と、専任組織の「待機児童緊急対策室」を設置し、今後3年間で約1,200人分の受入れ枠の拡大や保育士の緊急確保を目標にした「アクションプラン」を平成28年10月に策定しました。

ここでは、アクションプランの内容と、関連のある平成30年度の取組みについて紹介します。

#### ① 保育の受入れ枠の緊急拡大【3年間で約1,200人】

##### 平成28年度中【約25人】

- 民間認可保育所の定員超過入所（定員の弾力化運用）の拡大

##### 平成29年4月【約240人】

- 市有地活用型の民間認可保育所（戸田公園駅前）の開設
- 民間事業者による認可保育所（戸田公園駅前、北戸田駅前）の開設
- 民間事業者による小規模保育事業所の開設・定員増
- **保育事業者への市単独補助金を新設**
  - ① **整備費** 事業者負担分1/4相当の補助を新設（2年間限定）
  - ② **運営費** 公定価格（保育単価）の地域区分の近隣市との差額相当分の補助（戸田市6/100と近隣市15/100の差額）を新設
- **幼稚園への市単独補助金を新設**  
長時間預かり保育の運営費用の一部補助を新設

平成30年4月【約550人】 ■ 民間事業者による認可保育所等の開設等により

平成31年4月【約385人】 ■ 民間事業者による認可保育所等の開設等により

#### ② 保育人材の緊急確保

##### 平成29年4月～

##### □ **保育士への給付金等を新設**

- ① **就職支援給付金** 新規採用の常勤保育士に最大で30万円（就職時20万円、1年後10万円）の市単独補助を新設（3年間限定）
- ② **宿舍借上支援** 常勤保育士1人当たりの補助金上限額 毎月82,000円のうち、3/4補助（事業者1/4負担）を新設（5年間限定）

##### □ **産学官協働による保育人材確保事業の実施**

長期にわたり安定的に保育人材を確保していくため、市内保育関係者・学識経験者・事業者・行政等で、市独自の魅力ある保育の職場づくり等の方策等を協議し、緊急対策の実施と将来を見据えた持続可能な仕組み等を構築する。

### (2) 平成30年度における新規事業（保育人材の緊急確保・定着化）

##### 平成30年4月～

##### □ **保育士緊急確保・定着促進事業補助金（仮称）**

戸田市内私立保育所等に勤務する補助対象保育士に対し賞与として年間20万円の上乗せ支給を行った保育事業者に対して、その額を補助する。

##### □ **産学官協働による保育人材確保・定着化事業の実施**

平成29年度中に実施した保育士アンケート調査等を踏まえ、保育人材の確保・定着化の課題解決に向けて、市や事業者等の主体が単独ではなく一丸となり、市独自の方策を市全体で生み出し、それを実践した結果、保育士にとって魅力ある・働きやすい職場にすることで、本市の保育の質が向上し、長期に渡り安定的に保育人材を確保し、定着し続けることを狙いとした「産学官協働による保育人材確保・定着化業務」をコンサルタントの運営支援を受けて実施する。

また、私立保育所等の協議会が自主的に企画・運営する「保育人材確保や定着化に関するセミナー」等の費用の一部を補助する。

# 平成30年度 消費税率の引上げ分に係る地方消費税交付金の使途について

## 【歳入】

・地方消費税交付金(社会保障財源化分)

8.3億円

## 【歳出】

・地方消費税交付金(社会保障財源化分)充当事業に要する経費

105.4億円

## 【地方消費税交付金(社会保障財源化分)充当事業に要する経費】

(単位:千円)

事業名		経費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	
			国県 支出金	市債	その他	引上げ分の 地方消費税 (社会保障財源 化分の地方消 費税交付金)	その他
社会福祉	障害者自立支援事業	2,445,668	1,739,100			104,689	601,879
	高齢者介護予防・生活支援事業	52,761			8,333	6,583	37,845
	施設型給付事業(民間保育所)	4,308,054	1,829,153		810,927	247,135	1,420,839
	学童保育室事業	515,282	210,110		66,753	35,325	203,094
	小計	7,321,765	3,778,363		886,013	393,732	2,263,657
社会保険	国民健康保険特別会計繰出金	1,580,529	226,116			200,676	1,153,737
	介護保険特別会計繰出金	930,750	11,985			136,129	782,636
	小計	2,511,279	238,101			336,805	1,936,373
保健衛生	感染症対策事業	472,912	4,229			69,442	399,241
	親子保健事業	234,253	28,111		3,522	30,021	172,599
	小計	707,165	32,340		3,522	99,463	571,840
合計		10,540,209	4,048,804	0	889,535	830,000	4,771,870

## 競艇事業収益金充当に関する調

(単位:千円)

(款別)	事業名等	充当額	説明	構成比
【一般会計】				
(総務費)				
	庁舎天井改修及び階段撤去	13,645	○工事請負費	
小計		13,645		2.7%
(民生費)				
	新曽福祉センターホール天井改修及びアスベスト除去	8,876	○工事請負費	
小計		8,876		1.8%
(土木費)				
	羽黒橋補修工事	8,010	○工事請負費	
	歩行者自転車道路整備	13,142	○工事請負費	
	さくら川整備	9,540	○工事請負費	
	公園施設改良・改修	7,626	○工事請負費	
	下水道費(負担金)	70,711	○負担金及び補助金	
小計		109,029		21.8%
(消防費)				
	消防車両の整備事業	11,225	○備品購入費	
小計		11,225		2.2%
(教育費)				
	図書館・郷土博物館設備改修	10,417	○工事請負費	
	スポーツセンター屋内プール新築	15,320	○工事請負費	
小計		25,737		5.1%
(諸支出金)				
	地方公共団体金融機構納付金	86,742	○地方公共団体金融機構納付金	
小計		86,742		17.4%
<b>合計【一般会計】</b>		<b>255,254</b>		<b>51.0%</b>
【国民健康保険特別会計】				
保険給付費				
	療養諸費	128,534	○療養諸費	25.7%
【市民医療センター特別会計】				
総務費				
	総務管理費	48,482	○一般管理費	9.7%
【新曽第一土地区画整理事業特別会計】				
事業費				
	事業費	49,475	○工事費	9.9%
【新曽第二土地区画整理事業特別会計】				
事業費				
	事業費	18,255	○工事費	3.7%
<b>合計【特別会計】</b>		<b>244,746</b>		<b>49.0%</b>
<b>総合計【一般会計+特別会計】</b>		<b>500,000</b>		<b>100.0%</b>

# 平成30年度 戸田市予算マップ



第35回戸田マラソンin彩湖

新田公園遊具改良・改修工事

北部公園野球場  
公衆トイレ改良・改修工事  
更衣室改修工事

(仮称)1号公園2期整備工事

芦原小学校天井改修

防災監視カメラ設置

福祉保健センター天井改修工事

美女木4丁目会館修繕

スポーツセンター  
陸上競技場改修・屋内プール新築工事

防災監視カメラ設置

新曽中学校武道場天井改修

戸田市商工会補助金  
(起業支援センター機能移転)

戸田ヶ原自然再生事業

さくら川護岸整備工事

図書館・郷土博物館設備改修工事

文化会館改修工事設計

山宮橋耐震補強工事

(仮称)グローバルキッズ戸田駅前保育園  
(H30新設保育園)

庁舎2階ロビー天井改修  
及び階段撤去工事

私立幼稚園預かり保育事業費  
(ささめ幼稚園)

歩行者自転車道路整備工事

消防本部庁舎冷却塔交換修繕

前谷馬場線整備事業

(仮称)こだま虹保育園  
(H30新設保育園)

戸田東小学校・戸田東中学校改築

荒川水循環センター上部公園  
全面オープン

笹目コミュニティセンター天井改修

新曽保育園空調機器更新修繕

新曽福祉センターホール天井改修  
及びアスベスト除去工事

防災監視カメラ設置

(仮称)ココファン・ナーサリー戸田公園  
(H30新設保育園)

喜沢第一歩道橋補修工事

平成30年度の主な事業を  
地図にしてみました！

笹目6丁目会館修繕

根木橋児童公園  
遊具改良・改修工事

戸田公園駅前出張所  
窓口カウンター及び記載所再編  
証明書交付キオスク端末構築

上戸田川整備事業

(仮称)つくし保育園(H30新設保育園)

(仮称)戸田第2すこやか保育園  
(H30新設保育園)

喜沢小学校児童保育室改築

さくら川護岸整備工事



第44回戸田ふるさと祭り



第65回戸田橋花火大会

南原会館修繕

羽黒橋補修工事

心身障害者福祉センター  
敷地内アスファルト舗装修繕

歩行者自転車道路整備工事

喜沢中学校武道場天井改修

喜沢南保育園改築等工事設計

喜沢記念会館修繕